

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第 4 号

会議等結果報告書			
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	1 1 6
		決裁期日	平成 2 2 年 7 月 2 日
名 称	上富良野町協働のまちづくり推進委員会（第 1 回）		
日 時	平成 22 年 6 月 2 9 日(火) 午後 7 時 0 0 分～午後 9 時 0 5 分		
場 所	上富良野町役場 3 階第 2 会議室		
出席者	委員 9 人 町長、町民生活課長、事務局 2 人 合計 1 3 名		

内 容

[進行：町民生活課長]

町民生活課長から、欠席委員（4 人）と遅れて出席する委員について報告。

委嘱状交付

向山町長から、本会議に出席した 8 名の委員に委嘱状の交付を行った。

町長あいさつ

向山町長： 本会議への出席に心からお礼申し上げる。協働のまちづくりはこれからの新しい上富良野のまちづくりの骨格になる部分であり、ご苦勞をかけるかもしれないがお願い申しあげる。

昨年 4 月自治基本条例を施行させていただき、1 年が経過した。その間推進準備委員会で協議を重ねており、最後にこの推進委員会で自治基本条例に魂を入れていただきたい。

皆さんがそれぞれの立場で活動されていると思うので、広い意見をいただき、上富良野町の新しい道しるべを作っていただきたいと思っている。

自己紹介

町民生活課長の挨拶の後、各委員から自己紹介が行われた。

議題

2 上富良野町協働のまちづくり推進委員会設置要綱について

吉岡主幹から要綱を説明。

松下委員： 附則の 2 項の任期は、第 3 条の第 3 項ではないのか。

吉岡主幹： 第 3 条第 3 項なので修正する。

松下委員： 第 2 条第 3 号の「協働として実施すべき事業かの検証」の「か」とは事業であるかないかの「か」なのか。

吉岡主幹： 協働として実施したほうが良いのかという意味である。

町民生活課長： 今、職員のほうでも協働でできる事業かどうかというのも作っている最中な

ので、それをご覧いただき、協働でできるかどうかを検証していただきたいという
意味である。

1 会長及び副会長の選出について

町民生活課長：要綱の第4条のとおり、皆さんの互選で会長、副会長を決めていただきたい。

平倉委員： 推進準備委員会に参加していた方に会長をしていただいたほうが新しく参加した
方よりわかりやすい部分があると思う。

久我委員： 昨年から参加し、いい意見を言っていた瀬川委員を推薦する。

町民生活課長： 前回から参加している瀬川さんに会長をしていただきたいという意見があっ
たがいかがか。

瀬川委員： 夏場はすべての会議に参加することは難しく、今回のように遅刻も多くなってし
まう。また、自分よりも年上の方ばかりなので難しい。

松下委員： 瀬川委員にあきらかに負担になるようなので、昨年も皆勤賞であった三島委員を
推薦したい。

町民生活課長： 今、三島委員がいいと言う意見がありましたかどうか。

拍手多数のため承認

町民生活課長： 続いて副会長を選んでいただきたい。どなたか推薦するかたはいないか。

平倉委員： 流れがよくわかっていないので、わかっている人の方が良いと思う。

島瀬委員： 来年の何月とかまでに決めるなら今回から参加した人でもいいと思うが、短期な
ので、ある程度話がわかっている人の方がいいと思う。

瀬川委員： 前からいる人ばかりで固めると、その流れというものができてしまう。前回はそ
うだったが勝手なことが言えるところがいいと思うので、そういう意味では新しい
人がいてもいいと思う。やり方が変わってもいいし、変えたほうがいいとも思う。
女性というところにできればお願いしたい。

平倉委員： 意見を言う側として会議に参加したい。副会長だから女性ということは決まっ
ていないと思うので、住民会連合会から松下委員を推薦したい。

拍手多数のため承認。

町民生活課長： 会長、副会長に挨拶をお願いします。

三島会長： 皆さんと共にまちづくりについて考えていきたい。

松下副会長： 会長を補佐したいと思う。住み続けたい町になるようになんとか知恵を生かし
ていきたいと思うのでよろしくをお願いします。

3 上富良野協働のまちづくり基本指針（素案）について

三島会長： 議案3について、事務局より説明をお願いします。

吉岡主幹から、協働のまちづくり基本指針(素案)に基づき説明。

質疑なし。

4 会議の進め方について

吉岡主幹から、当日配布した資料に基づき説明。

島瀬委員： 協働のまちづくりというのは全国規模で行なっていて、国でそれを取りまとめて
いたりするのか。

吉岡主幹： そういったことはない。

島瀬委員： 他の自治体などの資料などは取り寄せたりできないのか。

吉岡主幹： インターネットで多数検索できる。逆に数が多過ぎるため、どれがいいのかわからない面もある。

三島会長： 昔からある協働としては、公園の管理があり、実際に始まっている。できることからやっている。

瀬川委員： 10月以降の協働を推進する方針の検討というのは具体的になにをするのか。

吉岡主幹： 他の町の事例を見ながら上富良野町でできる協働の事業がないかを検討したいと思っている。

瀬川委員： 今回から入った人もいるので先にそれをして、ある程度勉強してから指針の策定に入った方がいいと思う。ある程度同じ認識がなければ難しいと思う。前はワークショップをしてから会議が盛り上がっていたので、先に素案を見ながら意見を出して基本指針を作るのは難しいのではないかと。先にこれを作らなければだめなのか。

町民生活課長： 条例を作成したが、何をすればいいのかはっきり見えていないので協働のまちづくりということで事例を紹介し、こういうことをすればいいのかということの基本になるのが基本指針だということで素案を作ってもらっていた。他の町のいいところだけではだめで、実際に町民がやっていることを基本指針で紹介し、町民ができそうなことに参加してもらおうというために基本指針があると思う。だから自分たちがやっていることをもっと知ってもらうために基本指針を作成しているという意識だと会議に参加しやすいと思う。

瀬川委員： いきなり次回会議で素案を読み進めていくといわれて大変ではないのかと思う。

松下副会長： 今回始めて参加したが、最終的なイメージがよくわからない。他の方もそうだと思うので、共通したイメージを作らなければ皆さんの方向がばらばらになってしまうと思う。説明した中で、概要版を作るといった話だったそれがどのようなもののかもわからない。

瀬川委員： 松下副会長の言ったとおりで、前回は最終的にもめたところは、素案はもっと厚いものがあるという人と、もう一方では2～3枚のものでいいという人もいて、最後までまとまらなかった。最終的なイメージを全体である程度持っていなければ、ある程度決まったのにゼロからになった会議もあったことも踏まえて、いきなり本題に入ってこれを競うのも正しいかもしれないし、いろんな情報をいれずにやるという意見もあると思うが、それでは皆さんの立場が絶対に違うので、收拾がつかなくなると思う。

吉岡主幹： イメージ的には、金沢市や大分市がわかりやすいという評価を得ているので早期に配布したいと思う。

久我委員： 全国的に見ていいところの事例を見るのも大切だが、現在の町の成功例の話聞くことも必要だと思う。遠くの町の成功例を見るより、うちの町でできているいいところを発表できる場を作るといいと思う。

境委員： 昨年まで作っていた素案を煮詰めていくということではないのか。

吉岡主幹： うちの町は今まで作ってきたものと、概要版としてわかりやすいものを作成したいと思っている。

三島委員： 時間的な制約はないのか。

吉岡主幹： そういったものはない。

島瀬委員： 最終的には素案に基づいた形にするということでもいいのか。

吉岡主幹： そうしたい。

町民生活課長： あちこちのものを覚えてしまうとまとまらないのでまとまっているものをある程度見てもらい、表現があっているかどうかを確認してもらいたい。

瀬川委員： 概要版のイメージがないと思うので、例えば大分市のものを見てもらってどういうものかイメージだけでも作らなければ概要版がどういったものかわからないと思う。

久我委員： 昨年のワークショップ中の写真はないのか。

吉岡主幹： 写真は少しある。

瀬川委員： いろんなものを決める前に全員のコミュニケーションをとらなければ、何となく会議が終わってしまうと思う。

島瀬委員： 読み合わせしながら進めていくのかと思っていたので、全然わからない。

瀬川委員： そういう意味では、前回のように予備知識をこの場でつけてくれた方がいい。

吉岡主幹から昨年の勉強会の状況説明。

瀬川委員： 結局あとからそのようなことをするのであれば、先に事例の紹介などをしてくれたほうがわかりやすいと思う。

境委員： 予備知識をつけないで出席するのもどうかと思うが、前回ワークショップをやったが、これはまったく生かさないのか。

瀬川委員： 前はこれをやって、みんな近い距離で意見を出せるようになり、その後みんな意見を言えるようになった。これをやったことで会議自体も盛り上がり、町議さんに意見するだけの会議などもあった。

久我委員： 今回、町議さんなどは参加できないのか。

吉岡主幹： 立場が違い、難しいところがある。

瀬川委員： 自分は前回のこともあるので、職員さん、町議さんにも参加していただきたい。

久我委員： 見識の広さなどもあり、よかったと思う。それによって白熱してできたと思う。

境委員： 我々にすればまったくそういったものがわからない。読めばこれもこれもいいというふうになってしまう。

瀬川委員： まったく議員さんとか職員さんを入れないのか。

吉岡主幹： 今の要綱に入っていないため改正しない限りこのままになる。職員は入っているところもあるが、議員は行政を監視する立場であるので、難しいと思う。

吉岡主幹： この後の参考資料として、先進地の大分市と金沢市のものを配付する。

5 その他

次期会議は、7月14日(水)を予定する。後日、開催案内を出す。

閉 会

[会議終了：21 時 05 分]

上富良野町協働のまちづくり推進委員会 委員名簿

任期：平成22年6月29日から平成24年3月31日まで

1

	所属団体・機関の名称	氏 名	備 考	6月29日
1	住民会長連合会	上 村 勉		
2	住民会長連合会	松 下 力		
3	社会福祉協議会	持 安 弘 行		
4	NPO法人たんぼぼの会	三 島 功 士		
5	ふらの農業協同組合上富良野支所	瀬 川 英 樹		20分遅刻
6	商工会	境 一 義		
7	生活安全推進協議会	島 瀬 良 一		
8	女性連絡協議会	中 澤 正 子		
9	リフレッシュ・マイタウン・かみふらの	奥 田 哲 也		
10	公募	大 内 和 行		
11	公募	徳 武 良 弘		
12	公募	久 我 みち子		
13	公募	平 倉 範 子		

9